

細江カトリック教会だより

3月号

〒750-0016 下関市細江町1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

新しい出発に向けて

厳しい寒さが続いた今年の冬でしたが、ようやく春の訪れが感じられるようになりました。この3月は私たちにとって四旬節と聖週間と重なり、復活祭に向けて信仰を深める時です。同時に個人としても共同体としても年度末の総決算とともに、新しい年度、新しい学年や学校、新しい職場、新しい出会いに向けて心の準備をする時でもあります。

思えば旧約聖書に伝えられる神の民イスラエルは、過去の歴史に与えられた神さまの導きを思い起こして、神さまがこれからも必ず正しい道に導いてくださるといふ信仰をもって未来に向かいました。私たちも、これまでに与えられたたくさんの恵みを感謝のうちに思い起こし、希望と勇気をもって新しい年度の課題に取り組みたいと思います。

細江教会では、1年半のあいだ教会と幼稚園で実習期間を過ごしたトアン神学生が、司祭課程の勉強のために上智大学神学部に進学します。数年後に司祭に叙階される日を楽しみに、これからも皆で応援しましょう。

私自身も、この復活祭を最後に、新しい任地に向かいます。7年前に下関に派遣されてきたときには、主任司祭も幼稚園園長の仕事も初めてで、紆余曲折の歩みでしたが、神さまのお導きと多くの善意の方々の助けに支えられて、何とか勤めさせていただきました。

ありがとうございました。私自身にとって、すばらしい学びと体験の時でした。悔いが残るとすれば、一人ひとりの方々をもっと深く知るゆとりがなく、霊的なニーズに十分にお応えすることができなかったことです。お赦ください。

新しく赴任してこられる予定だった佐々木良晴神父さまは、東京で心臓の手術を受けられ、治療と休養のために赴任が遅れることになりました。

その間の代理として、広島
の祇園教会から作道宗
三（つくりみち・そう
ぞう）神父さまがきて
くださいます。

主任司祭がだれであれ、信徒の皆さんが教会の運営や活動をすべて自主的に行なっていることは、細江教会のすぐれた特徴の一つです。これは今後も続けてください。そして、何よりミサと祈りを大切に、神さまを賛美する共同体として、いわば夜の海を照らす灯台のように、この地域に福音の光を灯し続けてください。

百瀬 文晃 神父



ファティマのマリア像の巡回 2/4



マリアさまへ

マリアさま、あなたのことを想う時、今は亡き在日韓国人の山口のおばあちゃんのことを思い出されます。

若くしてご主人様を亡くし、子どももなく、日雇い労働者で、小屋のような質素な家に住み、生涯清貧を貫き、黙していつもロザリオを繰り返しながら歩いていたおばあちゃん。

生まれる時代も、国も、親も、自分で選ぶことができない。自分の責任でもない。この世が送ってよこすさまざまな不可解と、かつ理不尽な出来事を、ロザリオと共に呑み込み吸収し、自分の信仰の世界を見事に昇華させ生き切った、静かで芯の強いおばあちゃん。

マリアさま、遅まきながら私も倣ってゆきたいと思うこの頃です。

「力」貸してくださいね。

間地 のり子



防災研修

2月4日 13:30 火消くじら館にて、25名が参加し、防災研修を受けました。

まず、防災センターでは、東日本大震災の映像を見ましたが、再度、地震、津波の怖さを体感しました。

通報体験コーナーでは、通報体験を試してみました。今回は落ち着いて電話での対応ができましたが、実際にはどうでしょう？

緊急事態発生！119に電話！慌ててしまわないでしょうか。係の方から、家でしたら電話の前に緊急連絡表を貼っておくのもいいでしょう、とアドバイスをいただきました。



3階にある指令センター見学は、物音たてないように、私語を謹んでくださいと前置きされ、廊下で大きなガラス越しに見る指令センター内は、署員の方々が通報を待機されて、連絡を受けると位置情報が画面に写しだされてすぐわかるようになっており、厳粛な雰囲気です。私たちが見学している間は出動指令はありませんでしたが、下関と美祢からの通報が入るそうです。この指令センターは震度7まで耐えるといわれました。

当日、火災・救助はなかったものの、今月に入って救急は149件と表示されていました。2月はまだ3日と半日でこの数です。救急搬送される件数が多く驚きました。今日は日頃の防災避難訓練の大切さを痛感した貴重な一日でした。感謝。

岸下 邦子

＊避難所での生活は…段ボールに 囲まれた個室？模型が展示されていました。



「平和アピール 1981 行事」

2/24 (土)

— 聖ヨハネ・パウロ 2 世教皇来日記念平和行事 —

『平和の使徒となるために』



＊「私たち人間が住まわさせていたいただいているこの素晴らしい自然に、今異変が起きている。大気汚染、廃棄物、土壌汚染、気候変動…人間が生物を脅かしている。」と、私たちに語り問いかける白浜司教さま。

平和行事に参加して

宇部教会にて、11時から講師白浜司教さまによる、「環境と平和」について回勅「ラウダート・シ」— (ともに暮らす家を大切に) の中から6つの環境の変化の叫びについて、3つの人間の叫びについてと、私たちの身近な生活にたくさんの叫びがあります。それに耳を傾けてみるのが大切な時ではないか、とお話しをされました。世界で起きている気候変動は人間に原因があり、環境破壊は貧困問題を引き起こ

すこととなります。もう一度私たちの生活を総合的に考え直す必要はない。そして、自然との対話、人との対話、神との対話の調和が大切だと、とてもわかりやすいお話でした。その後4つのグループに分かれて、①フランシスコ教皇が呼びかけている生活が送れているか？なににつまずいているか？②わたしがライフスタイルを変えるとどんなよいことがあるか？③消費主義？について分かち合いをしました。その後はミサをささげ、平和な世界を造るために、主キリストの愛と正義によって心を強めてくださるように願いました。もう一度 回勅「ラウダート・シ」を読み直ししないといけないと思いました。感謝！

林 妙子



四旬節黙想会 2/25 (日)

テーマ『イスラーム教を理解しながら、カトリックの信仰を深める』
指導；アント・フランシスコ神父



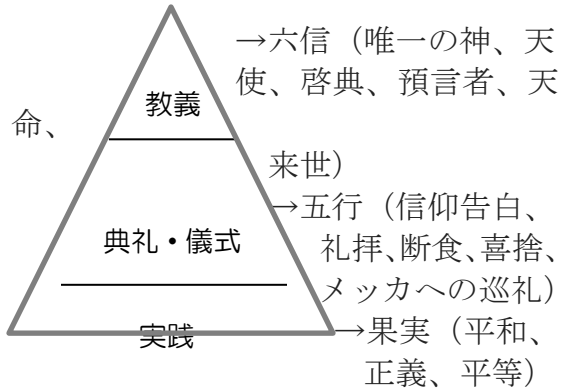
パワーポイントを駆使しての大変分かりやすいお話でした。

久しぶりに大学で授業を受けているような気持ちになり、わくわくしお話しに引き込まれました。

講話1 「アブラハムの宗教とその構造」

イスラム教・ユダヤ教・キリスト教が同じルーツを持っていることが浅学の私にとっての驚きでした。

アブラハム信仰の特徴は図で表すと下記のようになります。



実践の果実(みのり)に関しては(マタイ 7-7~18、ガラテヤの信徒への手紙 5-22~23 を参照)

カトリック生活の振り返り

- ・教義を十分に理解しているか
- ・典礼(伝統、習慣など)を守っているか
- ・信者の実践はどのような実を結んでいるか

以上、四旬節の只中にいる私たちが深く省みなければならぬ課題だったと思いました。

講話2 「神の言葉」クルアーン対イエス・キリスト

神の言葉は天使ジブリール→預言者ムハンマドに啓示、アラビア語で書かれクルアーン(聖典)となった。

大天使ガブリエル→マリア→キリスト、キリストの生涯の記録が新約聖書にまとめられている。

カトリック生活の振り返り

- ・聖書を読む習慣があるか
- ・聖書で祈る習慣があるか

つまり、どこまでイエス・キリストを知っているか(考えかた、感じ方、行動の仕方)

私たちが真にイエス・キリストに従って生きているか、が問われている事を思い知らされました。

細江共同体の皆で、聖書を読み、聖書で祈り、主に倣って生活する習慣を身につける努力を続けたいと願っています。

興味深い歴史を語り、具体的な振り返りをご教示くださったアント神父さま、ありがとうございました。

榎谷 紀子



行事案内

* 3月2日(金) 13:30
世界祈祷集会

(日本基督教団下関教会)

* 3月 4日(日) 9:00

宣教司牧評議会

* 3月 5日(月) 15:30

台湾巡礼団、来関。聖堂でミサ

* 3月10日(土) 天使幼稚園卒園式

* 3月11日(日) 14:30

東日本大震災の祈り

* 3月18日(日) ミサ後、大掃除

その後、拡大典礼委員会

* 3月21日(水) 13:00

広島教区司祭・助祭叙階式(山口)

* 3月25日(日) 枝の主日

* 3月29日(木) 19:00

聖木曜日(主の晩餐)

* 3月30日(金) 19:00

聖金曜日(主の受難)

* 3月31日(土) 19:00

聖土曜日(復活徹夜祭)

* 4月 1日(日) 復活の主日

復活祝賀会・送別会



編集後記



花粉症の季節ですね。

マスクと目薬が必要になりました。